

ゆった〜り山行実施記録表

2019年7月28日 報告者: Y.S

山行名	北アルプス 柵池・八方尾根フラワートレッキング (2086m/長野県)				
実施日	令和元年(2019)7月25日(木)~26日(金)		レンタカ(ハイース)利用		
天候/参加人員	天候:7/25:曇時々晴/7/26:晴時々霧		レベル ★	参加人員:9名(申込み12名)	
パーティスタッフ	省略				
参加メンバー	省略				
費用/一人当たり	【内訳】ハイースレンタル料:17,388×2=34,776円、燃料代:120×600km/8=9,000円、ドライバー謝礼:20,000×2+2,000=42,000円、高速代:(相模湖~安曇野)5,020×2=10,040円、柵池ロープウェイ入園料:3,220*×9=28,980円、八方ゴンドラ・リフト:2,610*×9=23,490円、*10%割引 柵池駐車場代:500円、宿泊代:9,500×10=95,000円、お弁当:400×9=3,600円、通信費:1,000円、ビール代:650×5=3,250円、合計:251,636円、@28,000×9=252,000円、252,000-251636=364円(カンパ金)				
歩行/行動時間	歩行時間	休憩時間など	行動時間	行動時間比(実行/計画) 歩行時間比(実行/計画)	
	ガイドブック	1:20/1:40			
	計画	1:55/2:30	0:55/1:40		2:50/4:20
	実行	2:20/3:28	1:15/1:12		4:25/4:20

実行コースタイム記録

**7月25日(木) 柵池自然園 天候:曇時々晴**      ハイース      (トイレ休憩)      ゴンドラ

本厚木====相模湖IC====談合坂SA====諏訪湖SA====安曇野IC====道の駅白馬====柵池高原駅~~

6:15	7:22	7:30	7:45	9:25	9:40	10:05	11:10	11:20	11:35	11:42
	ロープウェイ		15		05		10(楠川橋)	25		10

~柵の森駅~~~柵池自然園-----風穴-----ワタスゲ湿原-----トイレ休憩-----浮島湿原-----休憩

12:03	12:20	12:28	12:30	12:45	12:50(昼食)	13:20	13:30	13:35	14:00	14:10	14:15
50		15(CoffeeBreak)		10		ロープウェイ/ゴンドラ	ハイース(白馬村八方)				

-----水芭蕉湿原-----ベンチ休憩-----ピジターセンター~~~柵池高原駅====ヒュッテかもしか

15:05	15:20	15:45	15:55	16:05	16:55	17:00	17:35
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

**7月26日(金) 八方尾根 天候:晴時々霧**

	05	ゴンドラ	リフト	リフト	55	13
--	----	------	-----	-----	----	----

ヒュッテかもしか-----ゴンドラ乗場~~~兎平~~~黒菱平~~~八方池山荘-----ベンチ-----第2ケルン

7:55	8:00	8:03	8:10	8:15	8:25	8:30	8:37	8:45	9:40	9:50	10:03	10:10
15	25		40(第2ケルン)	13		32		リフト		リフト		

-----八方ケルン-----八方池-----トイレ休憩-----第1ケルン-----八方池山荘~~~黒菱平~~~

10:25	10:50(昼食)	11:35	12:15	12:20	12:33	13:05	13:10	13:15	13:22
ゴンドラ	10		ハイース			長野道/中央道			

兎平~~~ゴンドラ駅-----ヒュッテかもしか====道の駅松川====安曇野IC====諏訪湖SA====

13:30	13:35	13:45	13:55	14:00	14:58	15:20	15:46	16:15	16:30
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

相模湖IC====本厚木

18:40	20:00頃
-------	--------

コースの概要・特記事項・反省事項等

当初の計画では、7月18日~19日に設定されていたが、6月初旬からペルー沖の太平洋でエルニーニョ現象が発生、梅雨明けが遅れることをその時点で予測。7月に入って実行日を一週間遅らせる事を決断し、SLと相談して参加者に都合の有無を聞くと、2名の方が都合が悪いとの返事、悩んだが18日・19日だと雨天中止の可能性が大と判断、2名の方には大変申し訳ないが、中止するより延期して実施の可能性に賭けた。今この判断は正しかったようだ。当初の日程では当然中止の判断であった。去年は6月29日に梅雨が明けたが今年はかなり遅い。

**7月25日(木) 柵池自然園 天候:曇時々晴**

実施3日前にやむおえない事情で一名が参加できなくなり、9名で出発、圏央道が出来たお陰で相模湖までの道路は車も少なく、以前よりずっと走りやすい。高速道路も順調でほぼ計画通り柵池高原駅に到着。

JAFカード提示で1割引の券を購入、6人乗りのゴンドラに乗り込み出発、途中の駅でドアが開いたので降りようとしたら、降りないで下さいと言われ、見ると途中駅の白樺駅であった。終点の柵の森駅へ降り立ち、次のロープウェイ乗り場へと向う、何でこんなに離れた所に作るのと文句を言いながら柵大門駅で71人乗りという大きなロープ

ウェイに乗りつぎ柵池自然園に到着。

ビザセンターで昼食のつもりであったがベンチも少なく、景色のよい所と思い出発、たしか歩いてすぐにベンチがあったはずと思ったがなかなか無い、かなり前に来たので記憶もあいまい、歩いてきた登山者に聞くと、「ワタスゲ湿原にあります」とのこと、後で分かったが、我々は左へ行ってしまったが、右へ行けばすぐあった。

入口から15分ほどの所に風穴があり、そこから冷たい風が吹いてくる、中をのぞくと氷の塊がごろごろ、何で氷があるのかとても不思議に思う、真夏のこの暑さ、1mほどの深さは氷点下？、きっと誰かが運んできたことにしよう。

ワタスゲ湿原の入口にあるベンチにはツアー客が数名座っていたが、「ここでお昼にしましょう」と大きな声で言うとそのツアー客が「さあどうぞ」と言って立ち去ってくれた。ありがとうございます。思惑どおり、にやり。ゆっくり昼食。

坂を登っていくと浮島湿原に出る、ここは静かで景色も良く標高も1900m以上あり、とても気持ちの良い場所、しばしのんびりベンチに腰かけ人生を思う(大げさです)。帰りは水芭蕉湿原を周り大きな水芭蕉の葉を見て、「これ食べれば、一枚で何人分になる？」なんて言いながらゆっくりコーヒータイム。

帰りの入口近くでツアー客を連れたいツアーリーダーが「水芭蕉咲いていましたか」と聞く、一ヶ月以上遅いよ。

## 7月26日(金) 八方尾根 天候:晴時々曇

宿から数分の所にある八方駅から6人乗りのゴンドラに乗り、八方尾根に向かう、切符は割引チケットを宿で購入した。かなり長い距離をゴンドラにゆられ、標高1400mの兎平に着くと、さすがに朝の気温は低く、慌てて上着を着る。リフトまでの道にはピンクのシモツケソウが美しく咲き誇っていた。兎平からはリフトにゆられ、足下の草を靴底でなぞりながら黒菱平に到着。ニッコウキスゲの群落の道を次のリフトに向かい、気持ちの良いリフトで八方池山荘に着いた。

八方池へ向う登山道は尾根道と中腹の道があり、高山植物の多い後者の道を歩く、八方尾根にこんなにも高山植物が多かったかと初めて知った。パンフレットには通常 mountain より遙かに多い347種もの高山植物が自生しているとしてあった。他の山のように一面お花畑と言った派手さはないが、稜線一帯に高山植物が散らばっている。そのため登山道を歩きながら観ることが出来、また、花の名前が書いてある札がそちこちにあり、とても親切、その札を一つ一つ読みながら花を愛でながらの山旅は今回の目的であるフラワートレッキングにふさわしい。花の名前を確認しながら分かったような顔をしているが、三文字以上のカタカナの名前は無理、スマレ、サクラなら良いが、ミヤマナントカカントカソウとカタカナが並ぶと自慢じゃないけど読み終わると同時に頭から消えていく。それにしても本当に高山植物が多いのに驚く、ここには固有種もあって「ハッポウウスユキソウ」とか「ハッポウワレモコウ」と八方の名がついた高山植物も何種かあるそうだ。

そんな花々を愛でながらいつの間にか第3ケルンまで来てしまった。ここから八方池の方へ下っていくと残雪があって、その雪の斜面をみんなではしゃぎながら登ると八方池に到着した。前方にあるはずの白馬岳から不帰ノ嶮が霧で見えない。う〜残念と思ったら劇場の幕が開くように突然霧が晴れて目の前に白馬の雪渓から不帰ノ嶮があらわれた。ウワーと歓声をあげる間もなくまた霧に隠れてしまった。その後も時々霧が晴れて姿を現した消えることを繰り返して、まるで「ちょっとだけよ」と言われているみたい「どこ観てんのよ〜」と言われないうちで昼食とした。一番上のデッキにあるベンチが二つ並んで空いたので急いで確保しようとしたら、タッチの差で老夫婦に座られてしまった。「ああ・残念」と思わず大きな声を出してしまった。するとその声に気づいた夫婦は気を使って下の空いているベンチへ移ってくれた。「あら・すみません」と御礼をいいつつ、思惑通り。ニヤニヤ宿で作ってくれたおにぎりがとても美味しく、コンビニのおにぎりより素朴なこのおにぎりが山では最高のお弁当。

昼食後、山々が八方池に映し出すビューポイントへ行けばしばらく待ったが、中々霧のカーテンを開いてくれないので、諦めて帰路についた。帰りは第二ケルンの下にあるトイレの前を通り、尾根づたいに下ることにした。

尾根道は静かで登山客も少なく、途中2名の男女一組と会っただけ、ほとんどの登山者は中腹の巻き道を利用している。巻き道のほうが木道になっていて歩きやすいせいであろう。天気も良く、右に遠見尾根を見ながらゆっくり歩くと頬をなでいく風がとても心地よい、あゝこんな時間がいつまでもあってほしいと思うが、尾根道は短い、もう真下に八方池山荘の屋根が見えていた。SLのMさんが、あれが雨飾山、高妻山、そして妙高、雲の中に火打も見えると教えてくれる。

八方池山荘からリフトを乗り継いで兎平のゴンドラ乗り場で、Iさんが「あゝコーヒーが飲みたい」と叫ぶが、下へ降りてからゆっくり飲みましょうとゴンドラに乗り込むが、結局コーヒーは飲み損なってしまった。

ヒュッテかもしかのおかみさんは、運転するIWさんに部屋をそのまま使って休んでいいですよと言われたが、結局バスの中でハーモニカの練習をしていたらしい。かもしかに着くとバスの中で待っていた、予定通りの時間でしょと、自慢げに言うCLに「うん」だけ、コーヒーも、食べたかったアイスクリームもなしで出発した。

途中[道の駅松川]に寄ってそれぞれ野菜やおみやげを購入、Oさんは寄るたびに買い物をしていっぱい荷物。「やっぱり買っちゃうのよね」。分かる。でも諏訪湖にも寄る予定なのでまた増える可能性があるようだ。

帰りの高速道路は談合坂あたりから渋滞になり、あと10分あまりで相模湖ICに着くのに30分近く掛かってしまった、天気にも恵まれ、みなさまのご協力で無事終わることが出来、感謝します。ありがとうございました。